

受験対策・関数⑥

右の図で、直線ℓは関数 $y = -x + 6$ のグラフです。x軸上に点A(-1, 0)、点B(4, 0)を、y軸上に点C(0, 4)を、それぞれとります。また、直線ℓ上の $x > 0$ 、 $y > 0$ の部分に点Pをとります。

- ① 2点B、Cを通る直線の式は？
- ② x軸、y軸、直線ℓで囲まれた図形の面積は？
- ③ $\triangle ABP$ の面積と $\triangle ACP$ の面積が等しくなるときの点Pの座標は？

